

# ホクト株式会社

## 2025年3月期第3四半期 決算説明資料

2025年2月21日

東証プライム市場：1379



# 1. 2025年3月期第3四半期 決算報告

## 2. 最近の取り組み事項について

## 3. 参考資料

1

国内きのこの単価が野菜相場高の影響で  
堅調に推移し、大幅に増収増益

2

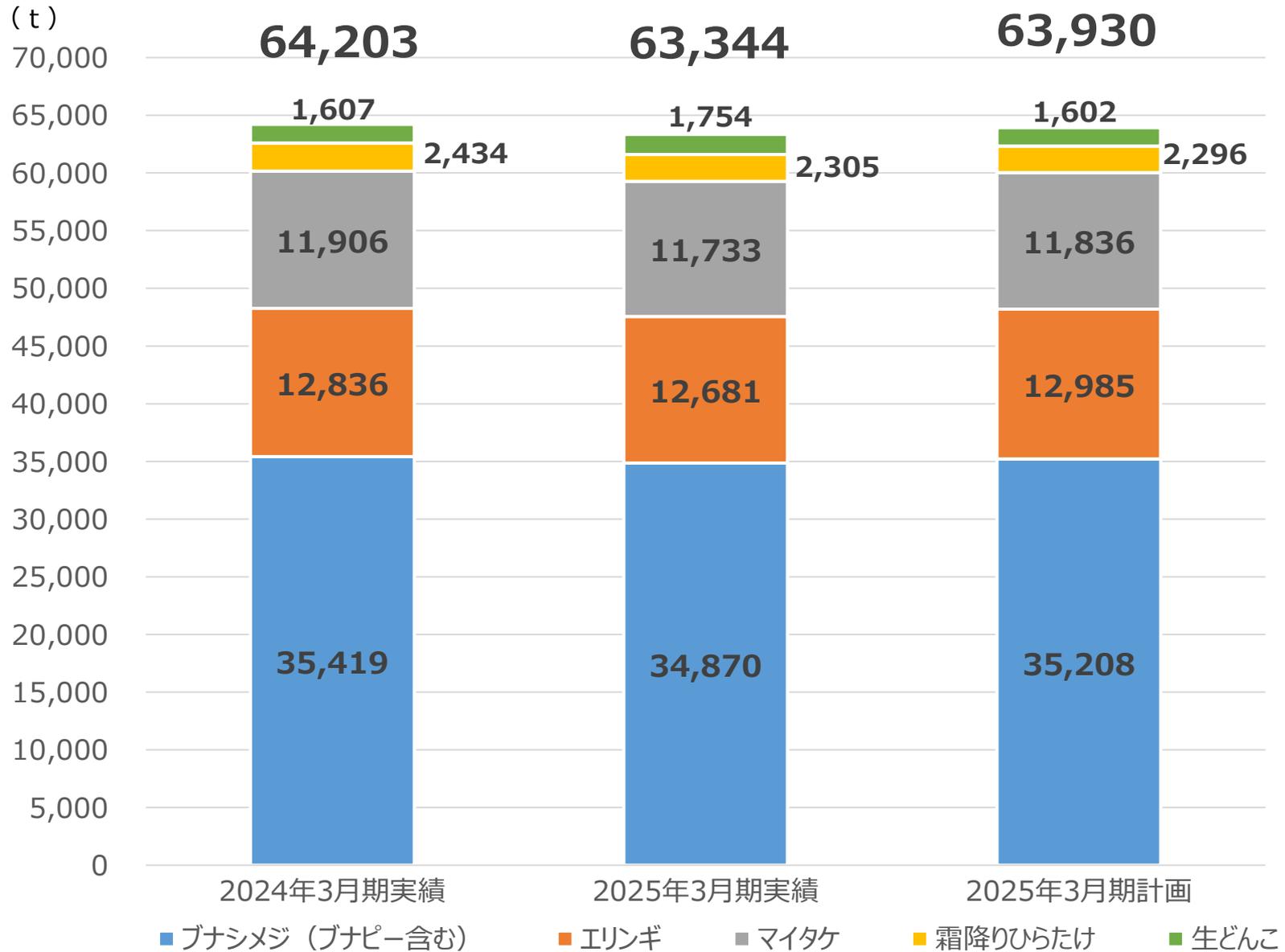
各セグメントにおいても全て増収増益

▶ 高温・干ばつの影響や生育期に猛暑の影響を受けた野菜が多く、全般的に平年よりも野菜の供給量が減少したことで野菜相場は高い水準で推移した結果、きのこの価格も堅調な動きとなり、売上高、営業利益ともに前年を大きく上回った。

(百万円)

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	前期比増減額	前期比増減率
売上高	58,579	61,605	3,025	5.2%
売上総利益	13,556	16,854	3,297	24.3%
売上総利益率	23.1%	27.4%		
販管費	12,119	12,801	681	5.6%
営業利益	1,436	4,052	2,615	182.1%
営業利益率	2.5%	6.6%		
経常利益	2,263	4,945	2,681	118.4%
経常利益率	3.9%	8.0%		
当期純利益	1,473	2,968	1,494	101.4%
当期純利益率	2.5%	4.8%		
一株当たり利益	46.49円	93.69円		

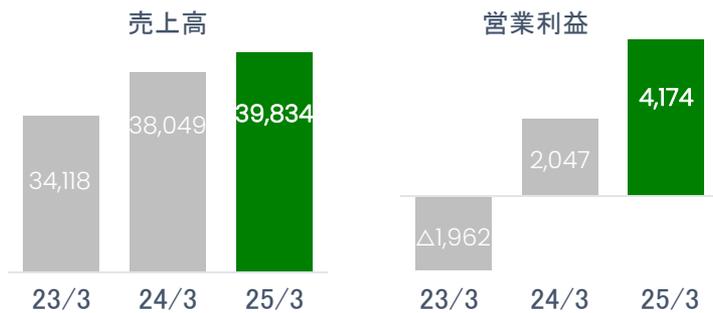
# ▶▶ 2025年3月期第3四半期 きのこ生産量の推移(連結)



(単位：百万円)

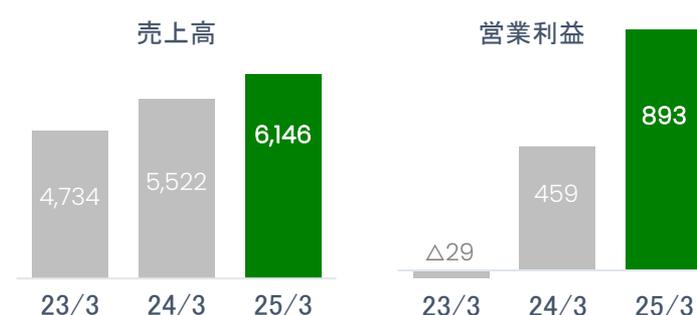
## 国内きのこ事業

✓ 高温・干ばつや猛暑等の影響で野菜相場が高値で推移し、きのこ単価も堅調となり**増収増益**



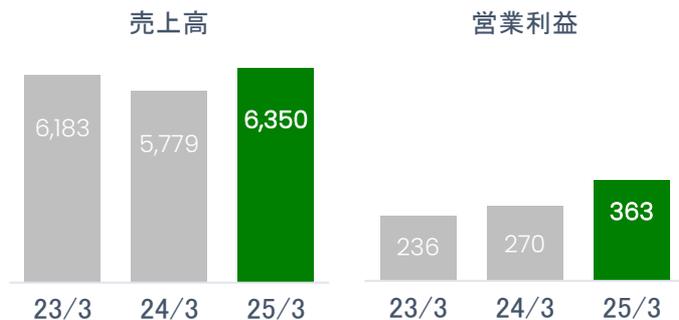
## 海外きのこ事業

✓ 各子会社、売上・営業利益ともに**増収増益**  
特にアメリカと台湾で需要が高まり販売が好調



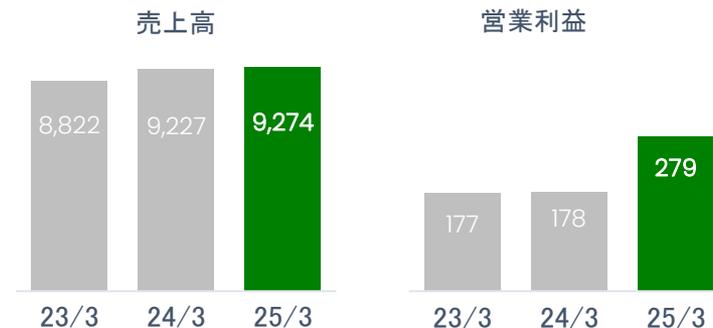
## 加工品事業

✓ 外食、デリカ、中食向け商品は引き続き好調  
✓ アーデンもレトルト受注状況が好調に推移し  
**増収増益**



## 化成品事業

✓ 食品容器を中心とした自社製品の販売及び  
きのこ生産者向け栽培原料販売は順調に推移



	当社前年対比	当社計画対比
ブナシメジ	106.5%	103.0%
エリンギ	104.6%	102.8%
マイタケ	106.8%	105.2%
霜降りひらたけ	107.3%	101.0%

高温・干ばつ、猛暑の影響を受けた野菜が多く、供給量が減少したことで野菜相場が高値で推移した結果、きのこの単価も堅調に推移

	当社前年対比	当社計画対比
ブナシメジ	98.2%	99.0%
エリンギ	98.7%	97.6%
マイタケ	99.4%	99.4%
霜降りひらたけ	94.7%	100.4%

上田第一きのこセンター火災の影響でブナシメジの生産量が減少

▶▶ 2025年3月期第3四半期 海外きのこ事業(前期比)

		2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	前期比増減額	前期比増減率
アメリカ	売上高	2,036万\$	2,048万\$	12万\$	0.6%
	営業利益	35万\$	192万\$	156万\$	443.0%
	為替	141.83	158.18		
台湾	売上高	488百万NT\$	505百万NT\$	17百万NT\$	3.5%
	営業利益	88百万NT\$	109百万NT\$	21百万NT\$	24.0%
	為替	4.62	4.84		
マレーシア	売上高	1,228万RM	1,283万RM	54万RM	4.4%
	営業利益	△350万RM	△166万RM	183万RM	—
	為替	30.83	35.40		

(百万円)

	期初計画	2025年3月期 第3四半期	計画差	計画比増減率
売上高	60,710	61,605	895	1.5%
売上総利益	15,162	16,854	1,692	11.2%
売上総利益率	25.0%	27.4%		
販管費	13,284	12,801	△482	△3.6%
営業利益	1,878	4,052	2,174	115.8%
営業利益率	3.1%	6.6%		
経常利益	2,083	4,945	2,862	137.4%
経常利益率	3.4%	8.0%		

野菜相場高の影響でこの単価も高値で推移したことに加え、  
製造原価や販管費等のコストの削減により、売上高・営業利益ともに計画を上回る

(百万円)

		期初計画	2025年3月期 第3四半期	計画差	計画比増減率
国内きのご事業	売上高	38,980	39,834	853	2.2%
	営業利益	2,212	4,174	1,962	88.7%
海外きのご事業	売上高	6,202	6,146	△55	△0.9%
	営業利益	948	893	△54	△5.8%
加工品事業	売上高	5,948	6,350	401	6.7%
	営業利益	210	363	153	73.2%
化成品事業	売上高	9,574	9,274	△299	△3.1%
	営業利益	232	279	46	20.0%

▶▶ 2025年3月期第3四半期 海外きのこ事業(計画比)

		期初計画	2025年3月期 第3四半期	計画差	計画比増減率
アメリカ	売上高	2,230万\$	2,048万\$	△182万\$	△8.2%
	営業利益	236万\$	192万\$	△44万\$	△18.7%
	為替	149.30	158.18		
台湾	売上高	508百万NT\$	505百万NT\$	△3百万NT\$	△0.6%
	営業利益	116百万NT\$	109百万NT\$	△6百万NT\$	△5.3%
	為替	4.70	4.84		
マレーシア	売上高	1,399万RM	1,283万RM	△116万RM	△8.3%
	営業利益	△118万RM	△166万RM	△47万RM	—
	為替	31.50	35.40		

前回発表予想(12月13日発表)

(百万円)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
80,800	4,300	4,600	2,500	79.11



今回修正予想(2月14日発表)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
82,100	5,900	6,500	3,800	120.32

天候不順により野菜相場が高値で推移したことで国内のきのこの単価も堅調に推移し、  
加えて原材料費や電力費等の製造原価も計画を下回る状況にあるため、再度計画を修正

前回発表予想(12月13日発表)

(百万円)

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
55,000	2,700	3,200	1,500	47.47



今回修正予想(2月14日発表)

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
56,300	4,200	5,000	2,700	85.49

天候不順により野菜相場が高値で推移したことで国内のきのこの単価も堅調に推移し、  
加えて原材料費や電力費等の製造原価も計画を下回る状況にあるため、再度計画を修正

# 1. 2025年3月期第3四半期 決算報告

## 2. 最近の取り組み事項について

### 3. 参考資料

## 一般社団法人「短鎖脂肪酸普及協会」へ入会

当社は、腸活の常識を変える“ミラクル物質”「短鎖脂肪酸」の認知・理解促進に向けて2024年8月20日に設立された「一般社団法人 短鎖脂肪酸普及協会」に入会いたしました。  
これに伴い、短鎖脂肪酸普及協会およびその会員企業とともに短鎖脂肪酸の普及活動を進めることを発表いたしました。

### (株)メタジェンとの共同研究で実証

きのこが持つ豊富な食物繊維が腸内細菌の餌となり、その結果生み出される短鎖脂肪酸が腸内で増える

免疫機能の指標となる腸内のIgA抗体が増える



健康食材としてのきのこの価値をさらに高め、消費者の皆様の健康で幸せな生活に貢献していくために、短鎖脂肪酸普及協会の活動に参画いたします。

# 長野県が発行する「グリーンボンド」への投資を決定

当社は昨年に引き続き、ESGへの取り組みの一環として、2024年10月11日に長野県が発行するグリーンボンドへの投資を決定しました。本債券を始めとしたグリーンボンド・ソーシャルボンド等へのESG投資を継続的に実施することで、今後も社会的責任を果たしてまいります。

### グリーンボンドとは

気候変動の緩和や気候変動への適応に資するプロジェクトなどの資金調達のために発行される債券。  
ESG投資の対象。

### 【概要】

銘柄	長野県令和6年度第3回公募公債 (グリーンボンド(10年))
年限	10年
発行額	100億円
発行日	2024年10月25日

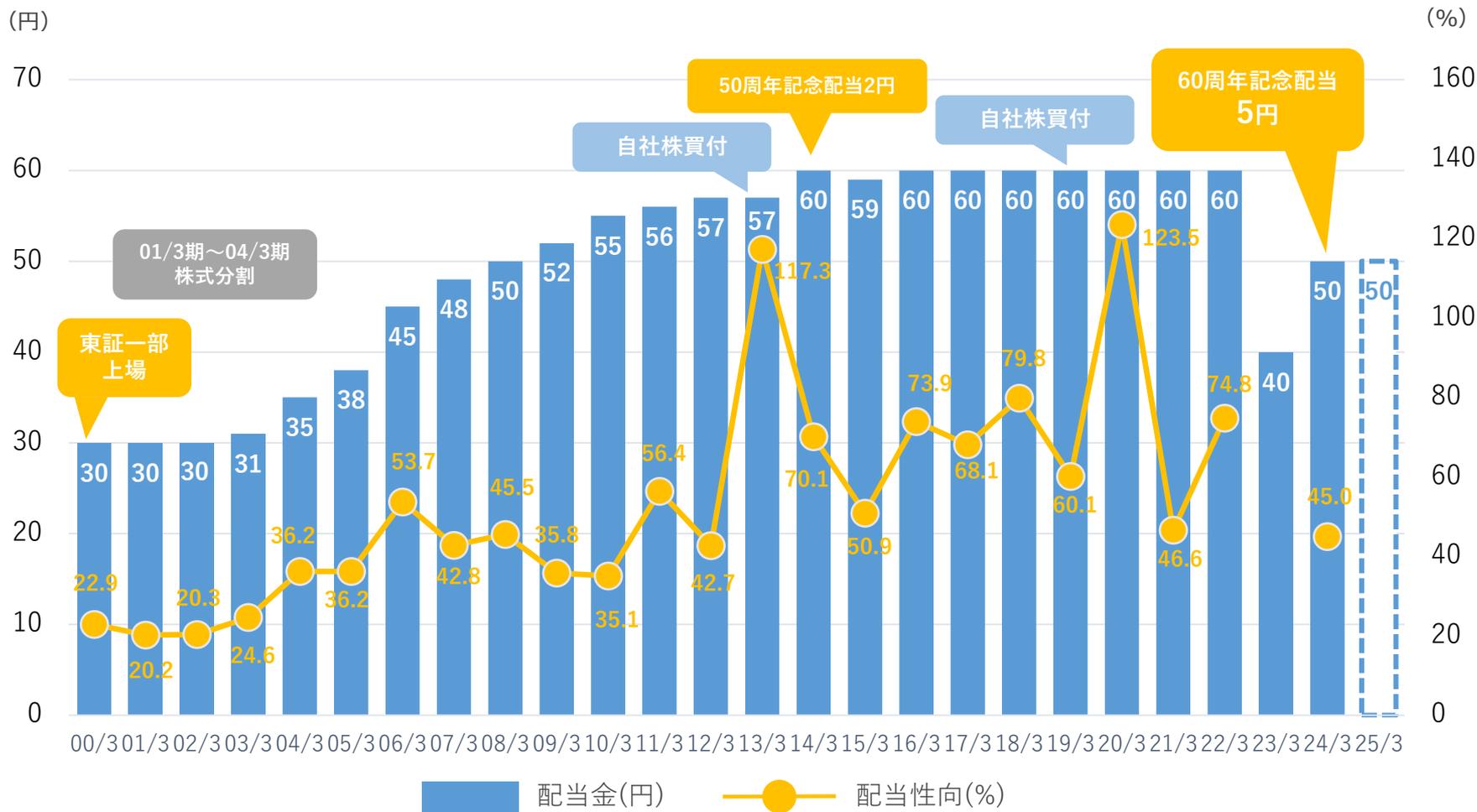
## 本グリーンボンドについて

- ✓ ICMA(International Capital Market Association/国際資本市場協会)が定義する「グリーンボンド原則2021」、及び「環境省グリーンボンドガイドライン2022年版」への適合性について株式会社日本格付研究所(JCR)から検証を受けており、最上位である「Green1」の評価を取得
- ✓ 調達資金は、2050年の二酸化炭素(CO2)排出量実質ゼロの達成(緩和)と気候変動に起因した自然災害による被害の回避・軽減(適応)に向けて、長野県が取り組むための環境施策に充当

# 1. 2025年3月期第3四半期 決算報告

# 2. 最近の取り組み事項について

# 3. 参考資料

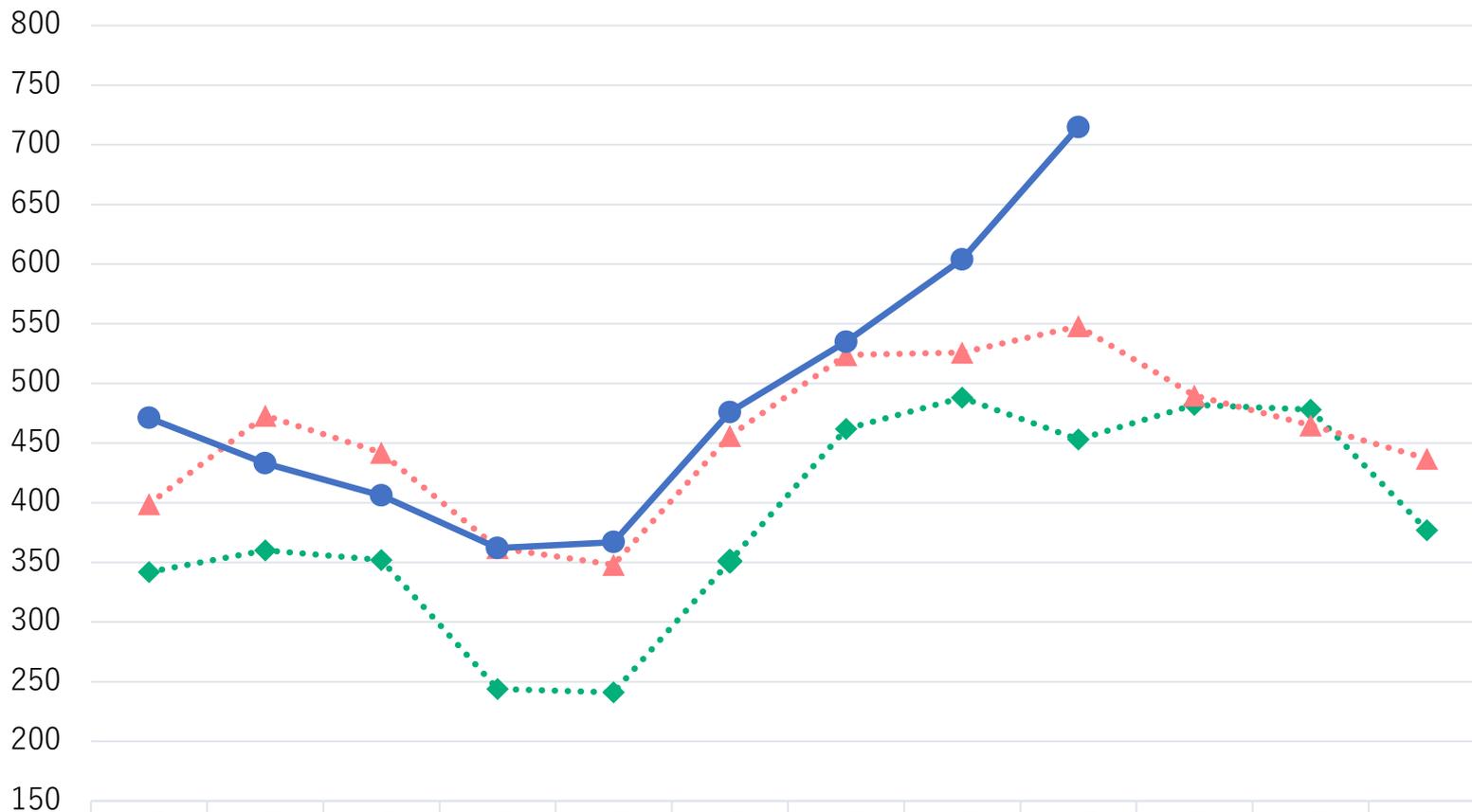


2025年3月期中間配当は10円。期末配当は40円を予定。

# ▶▶ (参考)ブナシメジ 市場取引価格の推移

(円/kg)

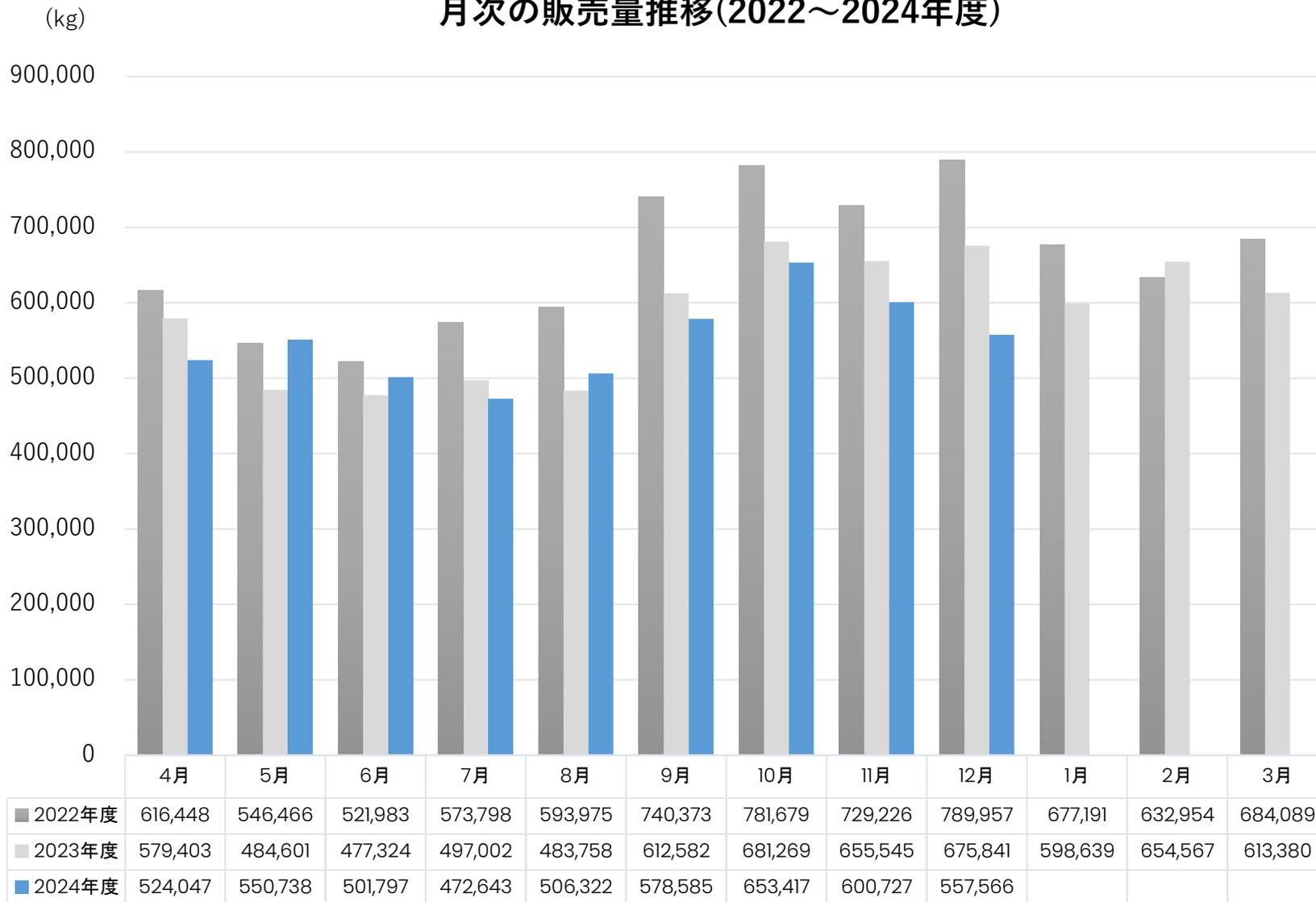
## 月次の価格推移(2022～2024年度)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◆ 2022年度	342	360	352	244	241	351	462	488	453	482	478	377
▲ 2023年度	399	473	442	362	348	456	524	526	548	490	465	437
● 2024年度	471	433	406	362	367	476	535	604	715			

平均 価格
<b>392</b>
<b>462</b>
<b>492</b>

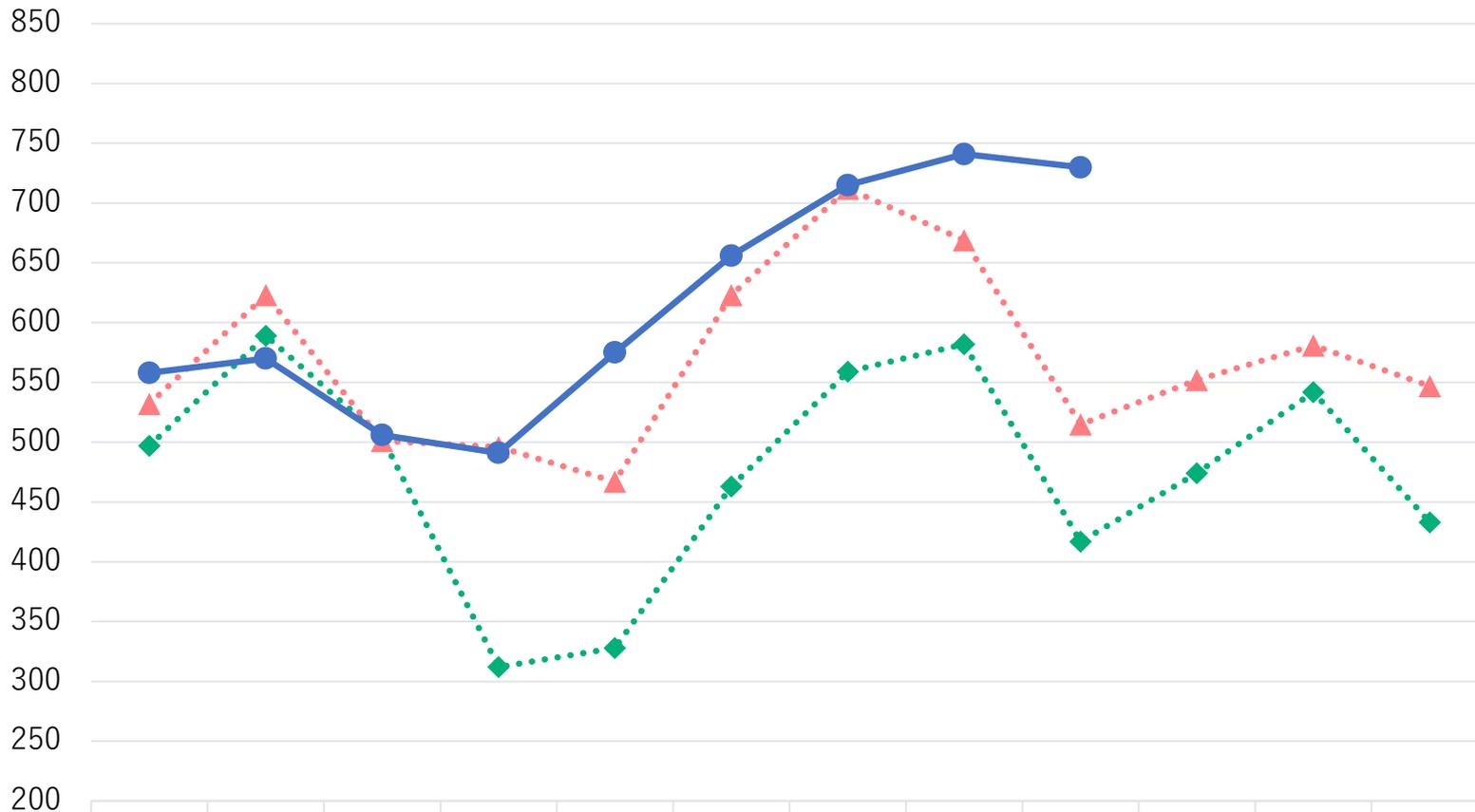
## 月次の販売量推移(2022～2024年度)



# ▶▶ (参考)エリンギ 市場取引価格の推移

(円/kg)

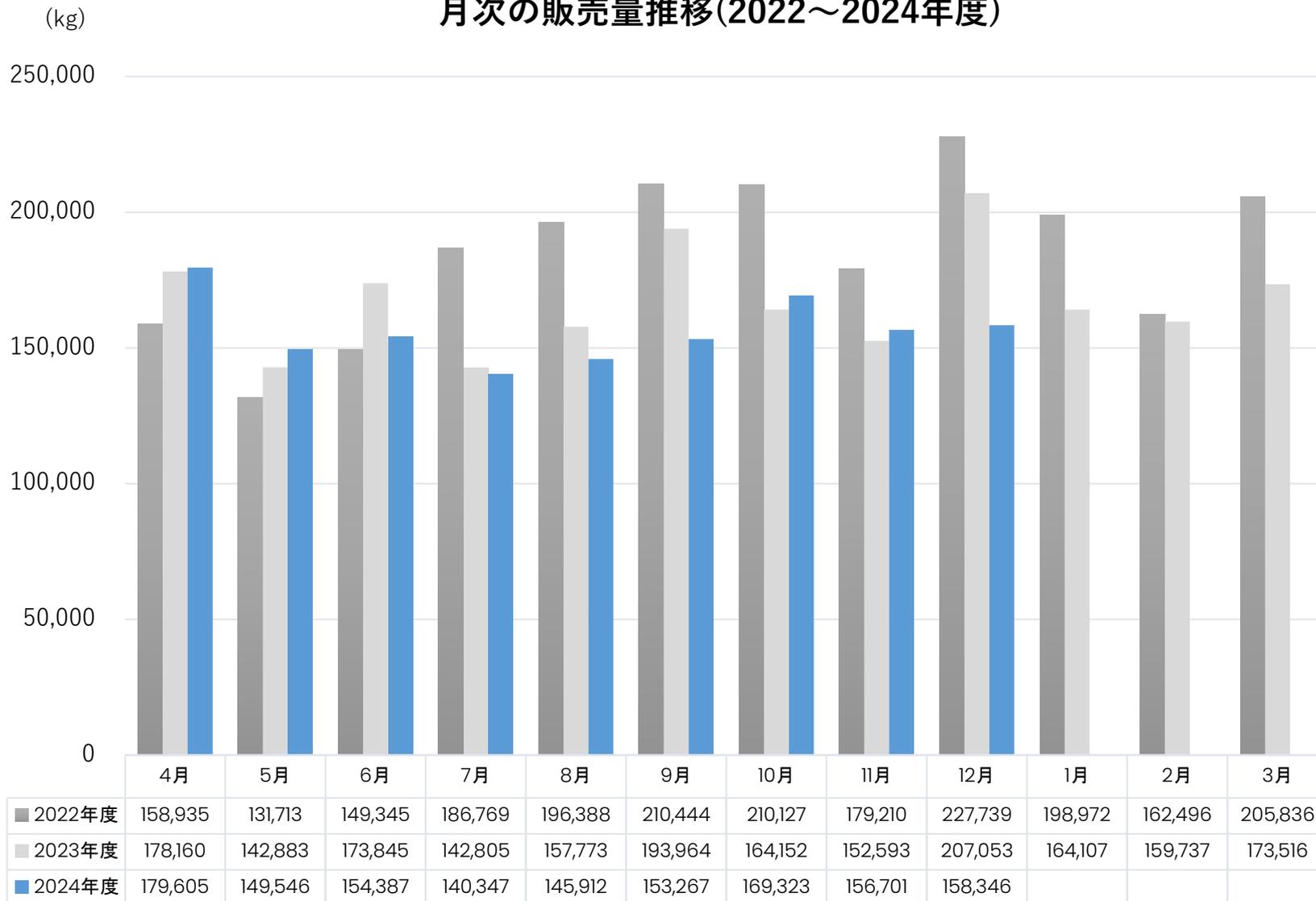
## 月次の価格推移(2022～2024年度)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◆ 2022年度	497	589	504	312	328	463	559	582	417	474	542	433
★ 2023年度	532	623	501	496	467	623	712	669	515	552	581	547
● 2024年度	558	570	506	491	575	656	715	741	730			

平均 価格
469
567
618

## 月次の販売量推移(2022～2024年度)

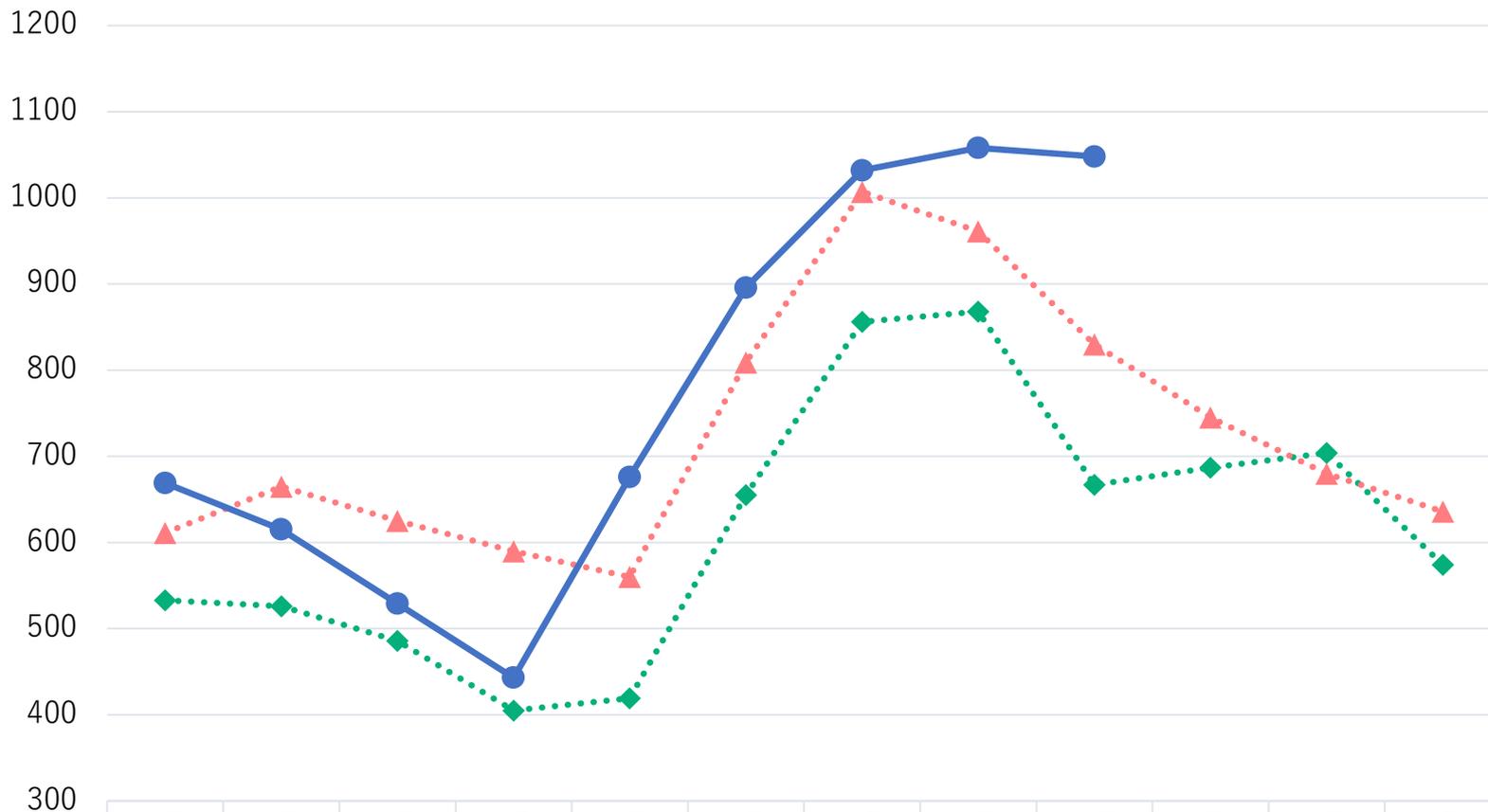


<b>年間販売量</b>
<b>2,217,974</b>
<b>2,010,588</b>
<b>1,407,434</b>

# ▶▶ (参考)マイタケ 市場取引価格の推移

## 月次の価格推移(2022～2024年度)

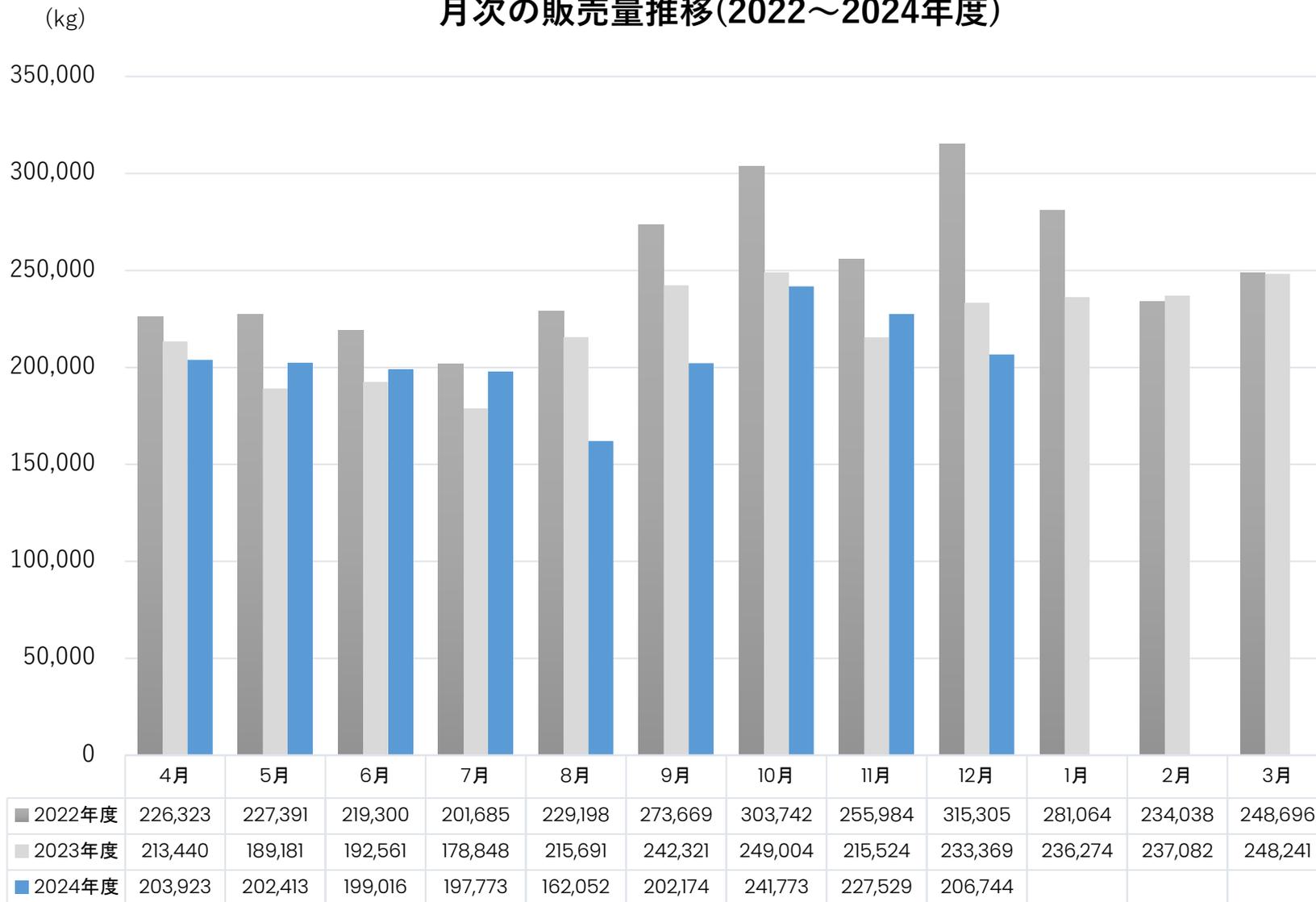
(円/kg)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◆ 2022年度	533	526	486	405	419	655	856	868	667	687	704	574
▲ 2023年度	611	665	625	590	560	809	1007	961	830	745	680	636
● 2024年度	669	615	529	443	676	896	1032	1058	1048			

平均価格
629
734
787

## 月次の販売量推移(2022～2024年度)



<b>年間販売量</b>
<b>3,016,395</b>
<b>2,651,536</b>
<b>1,843,397</b>



# HOKTO ホクト株式会社

所在地	長野県長野市	時価総額	60,112百万円 (2024年12月末)
代表者	代表取締役社長 水野雅義	株主資本	50,625百万円
証券コード	1379	従業員数	4,069人
上場市場	東京証券取引所プライム市場	主要事業	きのこの生産・販売
発行済株式数	33,359,040株		(2024年9月末現在)



**ホクト産業株式会社**  
化成品の製造・販売



**HOKTO KINOKO COMPANY**

北米でのきのこ生産・販売



**株式会社アーデン**  
レトルトパウチ食品の製造



**台湾北斗生技股份有限公司**

台湾でのきのこ生産・販売

**株式会社サン・メディカ**

Mushroom Wisdom, Inc,

PT HOKTO INDONESIA MATERIALS

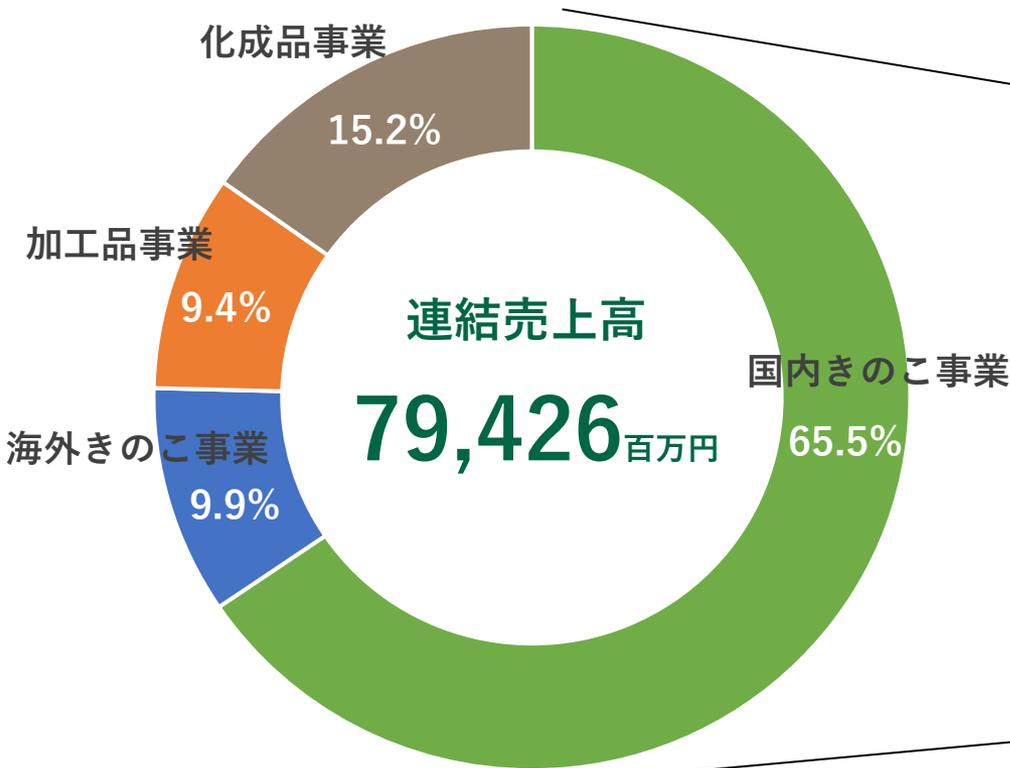


**HOKTO MALAYSIA SDN.BHD.**

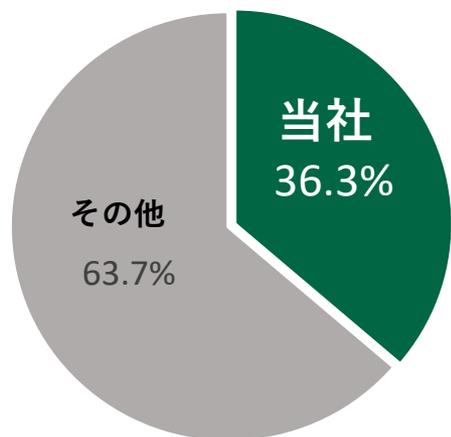
東南アジアでのきのこ生産・販売

## セグメント

## きのこ生産量

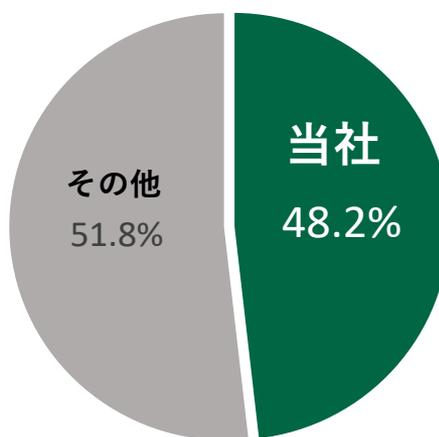


### ブナシメジ



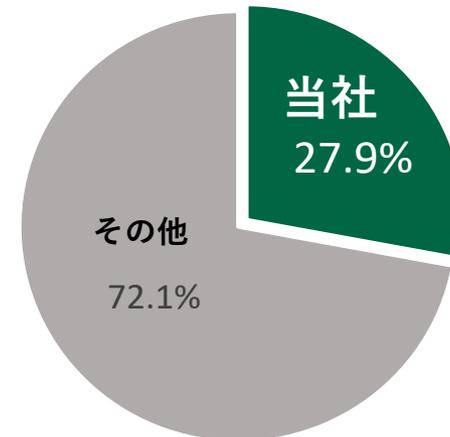
国内総生産量  
122,840 t

### エリンギ



国内総生産量  
37,798 t

### マイタケ



国内総生産量  
56,763 t

# IRに関するお問い合わせ

管理本部 広報・IR室

TEL: 026-259-5955

ホクト株式会社

